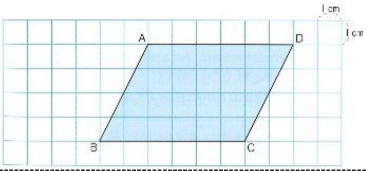
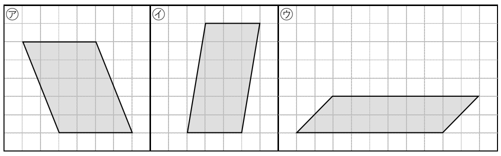
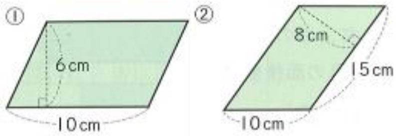
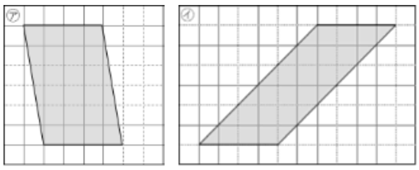
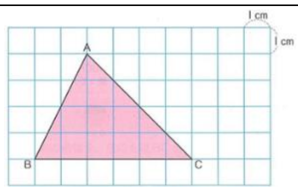
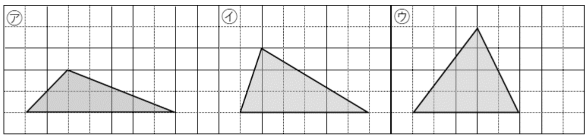
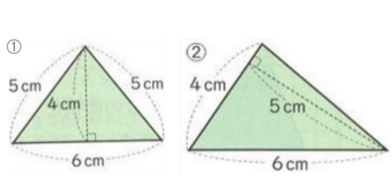
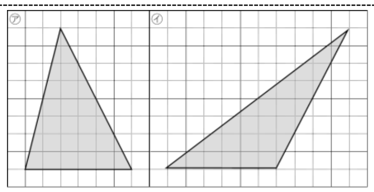
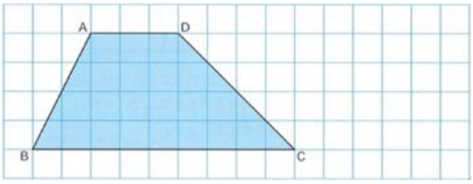
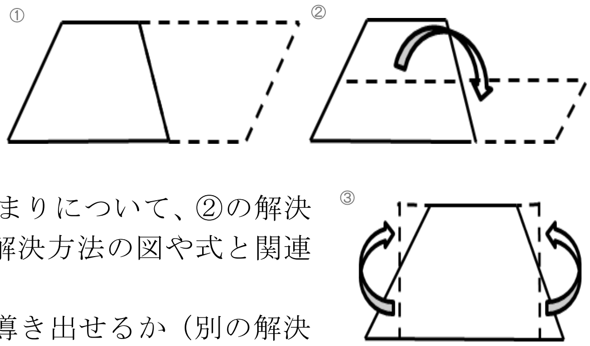
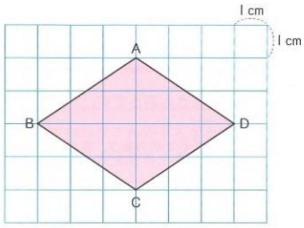
資料１　分数のたし算とひき算　指導計画（全 12 時間計画）

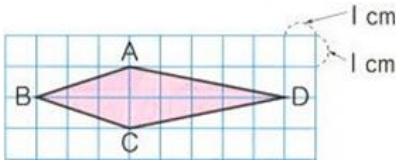
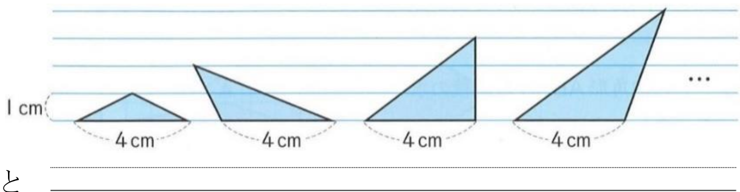
※１時間目は既習事項の振り返り、深めトーク・つながりシートの説明を実施（表には記載なし）

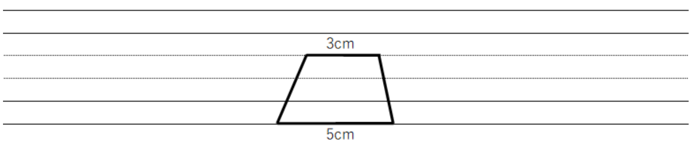
| 深めトーク | ◎目標　○課題　『深めトークの内容』 | 時間 |
|---|---|---|
| <br><br><br>B | ◎分数の分母と分子に同じ数をかけても、同じ数でわっても、分数の大きさは変わらないことを理解することができる<br>○1/4と同じ大きさの分数は？<br>『数直線から見つけた同じ大きさの分数に共通していることは何かを考える』 | 2 |
| <br><br>A<br>B | ◎「約分」の意味について理解することができる<br>○3/4 と同じ大きさの分数で、これよりも分母の小さい分数は？<br>『他者の式を見て、解決方法をペアで説明し合う』<br>『分数を同じ大きさのままで分母を小さくするときに割るために使う数に共通していることは何かを考える』 | 3 |
| <br><br>B<br>E | ◎「通分」の意味について理解することができる<br>○3/4と4/5はどちらが大きいのか？<br>『そろえた分母に共通していることは何かを考える』<br>『（適用問題として）1/2、2/3、1/4の通分の仕方を考える』 | 4<br>5 |
| <br><br>A<br>C・D | ◎異分母の分数の加減計算の意味を理解し、その計算ができる<br>①牛乳が1/5L と1/2L ある。あわせると何Ｌになるか？<br>『他者の解決方法についてペアで説明し合う』<br>『①の解決方法を使って、②牛乳が1/3L と1/2L ある ちがいは何 L か？に取り組む。さらに、異なる数学的な表現を用いた解決方法の関連を図る』 | 6 |
| <br><br>B<br><br>E | ◎約分ができる場合の加減計算の仕方を理解し、その計算ができる<br>○$1/6+3/8$を計算しよう<br>『（解決結果の 13/24と 26/48とその解決方法について）どうして違う分数になったのか、本当に違う分数なのかについて考える』<br>『（適用問題として最小公倍数で通分しても約分のある）$2/3-1/6$に取り組む』 | 7 |
| <br><br>A<br><br>C | ◎帯分数の加法・減法の仕方を理解し、その計算ができる<br>①$1\frac{3}{5}+2\frac{1}{3}$ を計算しよう<br>『帯分数のまま計算する方法と仮分数に直す方法の自分が使わなかったほうについて説明する』<br>『①の解決方法を使って、②$1\frac{7}{10}-\frac{1}{6}$ に取り組む』 | 8 |
| <br><br>A<br>C | ◎分数と小数の加減混合計算ができる<br>①$2/5+0.3$を計算しよう<br>『他者の解決方法についてペアで説明し合う』<br>『①の解決方法を使って②1/3+0.75 について取り組む』 | 9 |
| <br><br>E | ◎分数を用いた時間の表し方を理解することができる<br>①45 分は何時間か？　②40 秒は何分か？<br>『（適用問題として帯分数になる）90 秒は何分か？に取り組む』 | 10 |
| E | ◎学習内容を適用して問題を解決することができる | 11・12 |

資料２　四角形と三角形の面積　指導計画（全 12 時間計画）

<table>
<tr><th>深め<br>トーク</th><th>◎目標　〇課題　『深めトークの内容』</th><th>時間</th></tr>
<tr><td>A<br>B</td><td>◎平行四辺形の面積の求め方を考え、説明することができる<br>〇平行四辺形の面積を求める<br>『他者の図を見て､解決方法をペアで説明し合う』<br>『解決方法の共通点を考える』<br></td><td>1</td></tr>
<tr><td>B<br><br>E</td><td>◎平行四辺形の性質に着目し、面積を求める公式を考え、それを適用して面積を求めることができる<br>〇平行四辺形の面積の求め方の決まりを見付ける<br>『３つの平行四辺形の面積の求める際に共通して使っているのは平行四辺形のどの部分なのかを考える』<br>『（適用問題として底辺が図形の下の部分にある問題と下の部分にない）①②に取り組み、自分の考えを説明する』<br><br></td><td>2</td></tr>
<tr><td>A</td><td>◎高さを表す垂線の足が平行四辺形の外にある場合でも、内にある平行四辺形に帰着して面積の公式を適用することを考え、説明することができる<br>◎どんな形の平行四辺形でも、底辺の長さと高さが等しければ、面積は等しくなることを理解することができる<br>〇㋐と㋑（高さを表す垂線の足が図形の外にある）の面積を求める<br>〇㋐と㋑の面積が同じになる理由を考える<br>『㋑の面積の他者の解決方法についてペアで説明し合う』<br></td><td>3</td></tr>
<tr><td>A<br>B</td><td>◎三角形の面積の求め方を考え､説明することができる<br>〇三角形の面積を求める<br>『他者の図を見て、解決方法をペアで説明し合う』<br>『解決方法の共通点を考える』<br></td><td>4</td></tr>
<tr><td>B<br><br>E</td><td>◎三角形の性質に着目し、面積を求める公式を考え、それを適用して面積を求めることができる<br>〇三角形の面積の求め方の決まりを見付ける<br>『３つの三角形の面積を求める際に共通して使っているのは三角形のどの部分なのかを考える』<br>『（適用問題として底辺が図形の下の部分にある問題と下の部分にない）①②に取り組み、自分の考えを説明する』<br><br></td><td>5</td></tr>
<tr><td></td><td>◎高さを表す垂線の足が三角形の外にある場合でも、内にある三角形に帰着して面積の公式を適用することを考え、筋道立てて説明することができる<br></td><td>6</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>A</td><td>◎どんな形の三角形でも、底辺の長さと高さが等しければ、面積は等しくなることを理解することができる<br>○㋐と㋑（高さを表す垂線の足が図形の外にある）の面積を求める<br>○㋐と㋑の面積が同じになる理由を考える<br>『㋑の面積の他者の解決方法についてペアで説明し合う』</td><td></td></tr>
<tr><td>A<br>B</td><td>◎台形の面積の求め方を考え、説明することができる<br>○台形の面積を求める<br>『他者の図を見て、解決方法をペアで説明し合う』<br>『解決方法の共通点を考える』<br>
</td><td>7</td></tr>
<tr><td>D<br>D</td><td>◎台形の性質に着目し、面積を求める公式を考え、それを適用して面積を求めることができる<br>○台形の面積の求め方の決まりを見付ける<br>『①の解決方法から導き出した決まりについて、②の解決方法からも導き出せるか（別の解決方法の図や式と関連付けながら）考える』<br>『更に別の解決方法（③）からも導き出せるか（別の解決方法の図や式と関連付けながら）考える』<br>
</td><td>8</td></tr>
<tr><td>A<br>B<br>E</td><td>◎ひし形の面積の求め方を考え、説明し、面積を求める公式を考え、それを適用して面積を求めることができる<br>○ひし形の面積を求める<br>○ひし形の面積の求め方の決まりを見付ける<br>『他者の図を見て、解決方法をペアで説明し合う』<br>『（決まりを見付けるときに）複数の解決方法で共通して使っているひし形のどの部分なのかについて考える』<br>『（適用問題としてひし形ではないが対角線の直行する）右図の面積を求め、自分の考えを説明する』<br>

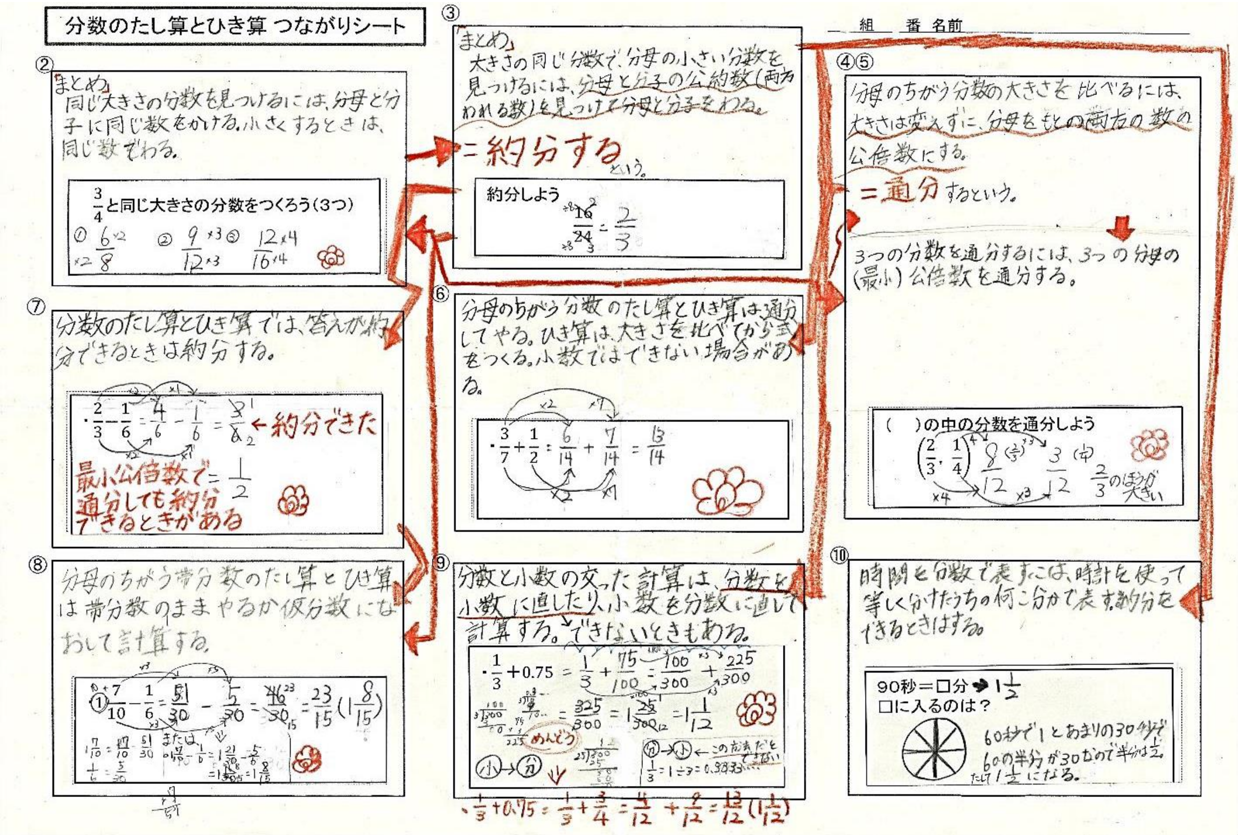

</td><td>9</td></tr>
<tr><td>E</td><td>◎三角形の底辺の長さを一定にして高さを変えたときの、高さと面積の関係について考え、比例の関係にあることを理解することができる<br>○高さと面積の関係を表や式で表し、調べる<br>『（適用問題として）台形の場合にも高さと面積にどのような関係があるのか考え、説明し合う』<br>


</td><td>10</td></tr>
<tr><td>E</td><td>◎学習内容を適用して問題を解決することができる</td><td>11・12</td></tr>
</table>

※Eについては時間があれば各単位時間で取り入れ、適用問題について自分の考えを説明する

資料３　児童がかき込みをしたつながりシート

「単元：分数のたし算とひき算」




「単元：四角形と三角形の面積」